



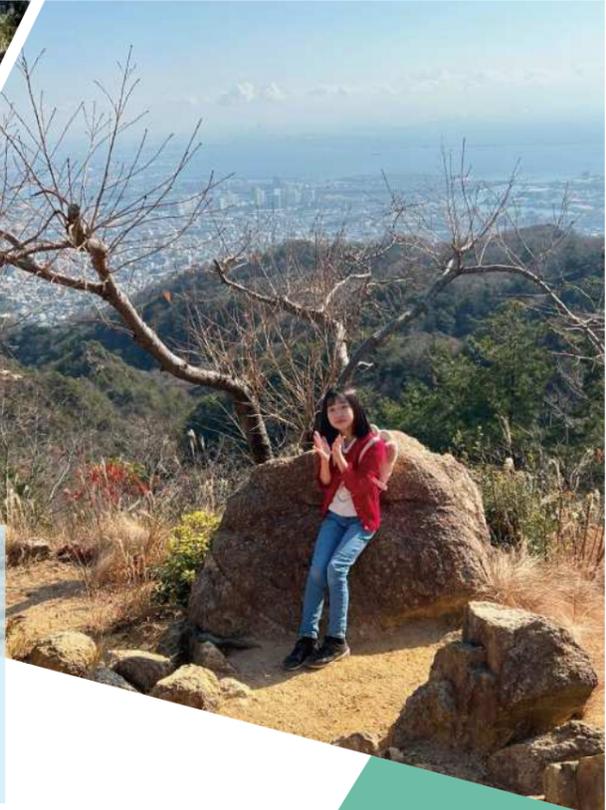
「プロローグ」

次女とは、5年前の岩湧山以来の登山だ。そのときは下山時に真っ暗の中の下山になってしまい怖い思いをさせてしまった。以来、山登りに誘っても乗ってくれなくなった。でも時は過ぎ、6年生の年の1月2日に長女と登ったのと同じルートで登山が叶った。



「山頂へ」

この登山ルートは、行程の最初の1/3が岩場、次の1/3が山頂までの山道、残りの1/3が山頂から有馬温泉までの下り道だ。登りはどうしても時間がかかるし、しんどい。でも、努力し苦労した分、目的を達成したときの満足感はサイコーだ！



「キメ！のポーズ」

物心ついたときから、人に見られることが好きな子だ。写真を撮る時、サッとポーズをとってくれるので大助かり。そんな性格だから、4歳から始めたクラシックバレエは、うってつけた。熱心にレッスンに打ち込み、出場したバレエコンクールでは、たくさん入賞した。親孝行な娘だ。



”娘と父の” 仲良し六甲山ハイキング

友達の前では、歳とった父親が恥ずかしくて、一緒にいることを嫌がる娘。そんな、プレ思春期の娘と2人で楽しんだハイキング。(八木)

「有馬温泉へ」

山頂で写真撮影した後は、ひたすら山を下る。登りよりも3倍ぐらい早く歩が進む。登山で疲れた体をほぐすのに、温泉は最高！娘が5歳の頃だったら一緒に男湯に入れたが、大きくなった今はそうはいかず、足湯で我慢する。熱い湯に足先を浸かり、身も心もほぐれた。

「ロックガーデン」

急な岩場を、鎖のロープをつかんで登る。「お姉ちゃんは本当に登ったの？」と何度も聞いてくる。弱音が垣間見える。

「5歳の時に登った岩湧山の方がきつかったよ」とか「六甲山頂からの眺めは最高！」とか言って、本人のモチベーションをあげてみる。



山頂の茶屋で飲むココア。冷えきった体にはサイコー。



帰りに三ノ宮駅近くでラーメンを食す。正月に縁起のいい「賀正ラーメン」。

